

平成27年度 学校関係者評価報告書

学校法人福岡医療学院
福岡医療専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人福岡医療学院 福岡医療専門学校 学校関係者評価委員会は「平成26年度自己点検・自己評価」の結果に基づいて、学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告します。

1 学校関係者評価委員

〈出席者〉

地域企業住民関係	:	北原 孝子 (朝日ホーム有限会社 顧問)
教育関係	:	下迫 勇夫 (福岡市立西陵高等学校 元校長)
卒業生	:	上野 啓介 (福岡医療専門学校 卒業生)
柔道整復科業界関係	:	松山 基光 (松山整骨院 院長)
鍼灸科業界関係	:	牛尾 健介 (はりきゅう整骨院 地球の唄 院長)
理学療法科業界関係	:	木下 健一郎 (有限会社ひかり 通所介護ライズ 代表取締役)
診療放射線科業界関係	:	山中 知愛 (医療法人 西福岡病院 放射線科 科長)
看護科業界関係	:	池田 悦子 (医療法人社団正樹会 佐田整形外科病院 副院長)

2 平成26年度自己点検・自己評価における学校関係者評価

評価項目	自己 評価	学校関係者委員の意見	学校関係者 評価	評価に対する今後の学校の取組等
1 教育理念・目的・育成人材像	2.6	●国家試験合格率は開校以来全国トップレベルを維持しているが、社会に貢献できる医療従事者を養成するため、さらなる教育の向上に努めて欲しい。 ▲西洋医学と東洋医学を両方学べる類稀な学校である。しかしながら、この特長を知っている業界の方がまだ少ないので、周知の仕方に工夫が必要である。	2.8	○教育理念・目的・育成人材像については、学則に明記し、学校案内やホームページに具体的にも記載し周知を促している。今後は、生徒や保護者だけでなく、業界関係者や就職先にも広く周知して頂けるよう、情報発信の仕方を改善する。 ○職業実践専門課程を通じ、社会のニーズに合った実践的な職業教育を継続する。
2 学校運営	2.3	▲高い医療技術を備えた教員を確保するための、評価制度の工夫が必要でないか。 ▲学会発表や永年勤続等に対する、報奨制度の導入も教職員のモチベーション向上に寄与する。	2.4	○学会参加規程を定めて、教職員の研修をサポートしていく。 ○職業実践専門課程の認定により、教職員の医療技術の維持・向上に対する意識の向上がみられるようになった。 ○教職員に対する適切な評価や報奨、福利厚生について、ニーズに応じた制度を検討する。
3 教育活動	2.4	▲学生の挨拶の声が小さくなってきている。 ▲卒業時は、国家試験向けの座学が中心で、修得した実技を忘れたまま就職してきた学生がいた。卒業時にもう一度技術の確認と指導を実施して欲しい。	2.8	○「あいさつ」といった基本的動作の徹底が、就職先から求められていることを教職員が充分理解し、日常の教育活動より実施できるよう努める。 ○これまで国家試験終了後から卒業までの間に、実技の再教育を実施していたが、今後は卒業後から就職までの期間もできるだけ利用して、再教育を実施する。
4 学修成果	2.5	●卒業生の社会的な活躍について把握、評価が必要である。 ▲学校関係者評価項目にもある退学率低減のさらなる取り組みが大事である。	2.9	○卒業生の勤務先を教員が訪問し、卒業後もフォローを行う。 ○問題がある学生に対する三者面談を早期から開始して、保護者との連携を強化して、退学率低減に努めていく。

5 学生支援	2.4	▲就職活動について、面接マナーや社会人モラルの指導がさらに必要である。	2.8	○近年、就職活動の時期が早まってきているので、就職課による就職セミナーを前倒しして実施する。
6 教育環境	2.5	▲学生の声を聞く仕組みはあるのか。 ▲卒業生として、ロッカーの整備やごみ箱の増加をして欲しい等さらなる環境の改善を希望する。	3.0	○教育環境については、毎年、卒業生を対象にアンケートを実施している。改善を希望する事項についてはすみやかに検討し、改善に努めていきたい。
7 学生の募集と受入れ	2.6	▲専門実践教育訓練給付金制度が拡充し、社会人入学が長期的に変わってくる可能性があるため、社会人の学びの場となるよう期待する。	2.8	○学校ホームページやスマートフォンを活用した情報公開を通じて、社会人入学者への適切な情報提供を行い、募集に努める。
8 財務	2.4	特になし	2.8	○学生募集の強化、退学率の低減、経費の低減につとめ、財務基盤の強化に努める。
9 法令の遵守	2.5	●法令を遵守し、自己点検・自己評価、学校関係者評価を行い、その結果を公開している。 ▲情報漏えいに対する職員教育の強化が必要である。	2.8	○自己点検・自己評価や学校関係者評価の活動を通じて教職員全員が学校の抱える諸問題に主体的に取り組む体制作りを進める。 ○情報機器の運用規定の徹底を図る。
10及び11 社会貢献	2.5	●近年、福岡医療の校舎を利用した勉強会の開催や、学会等で発表する卒業生が増えていて、国家試験対策以外にも力を入れていることが業界関係者に浸透してきて好評である。 ●入職3年目の卒業生を車イステニスのボランティア活動に参加させたところ視野が広がり、成長して良かったので、こうした取り組みを取り入れてはどうか。	2.9	○学校休業日には外部団体（医療従事者、地域企業等）の研修会場として学校施設を無料で開放し、地域社会に貢献している。 ○付属臨床実習施設の医療活動やトレーナー活動等を通じて、地域社会に貢献する人材育成を行っていく。

3. 優れている 2. 適切 1. 改善が必要

3 総評

委員による評価の平均値は2.8（3段階評価）であったことから、福岡医療専門学校の教育活動や学校運営は概ね高い水準で維持されていると評価する。

一方、就職先である医療機関から、職業教育機関として、1）社会人としてのモラルやマナーの教育の徹底、2）基本技術の徹底といった、基本動作の修得について改善を望む意見が複数あったので、これらの事項について改善を期待する。

また、「生涯学習」や「社会人の学び直しの間」としての専門学校が見直されてきているので、福岡医療専門学校の果たす社会的役割や教育活動の対象者が多岐に渡ってきていることを指摘する。